

きぼう

ほっかいどう やかんちゅうがく かい かいほう
「北海道に夜間中学をつくる会」会報
なんぼー
No. 7

第二回
北海道

自主夜間中学交流集会 生活体験発表が行われました

7月31日（土）、第2回北海道自主夜間中学交流集会、生活体験発表がおこなわれました。会場は、かでの2・7（北海道道民活動センター）4階大会議室。札幌遠友塾2名、函館遠友塾2名、釧路くるかい1名の受講生や学習者さんたち5名がそれぞれ自主夜間中学の学びの場にいたる思い、学びの楽しさを発表しました。発表を終えて、会場の参加者と感想や意見などの交流をおこないました。



▲ 函館遠友塾の発表



▲ 発表者(前列)のみなさん

発表の表題と発表者の紹介(発表順)

「テレビで遠友塾のニュースを見て」

「私の体験」

「親父に感謝」

「楽しやかな函館遠友塾」

「歴史ある二十年」

大野節子さん(札幌遠友塾じゅくりクラス)

野口実さん(函館遠友塾2年)

石川修さん(釧路くるかい)

野口徳子さん(函館遠友塾2年)

別所美恵子さん(札幌遠友塾3年)

なお、発表は「記録誌」にまとめておりますので、ご希望の方は連絡をいただくと送付いたします。

れんらくさき

連絡先: 〒004-0004

さっぽろしあつべつくあつべつひがし じょう ちようめ
札幌市厚別区厚別 東 4条5丁目9-23

いずみ まさと
泉 雅人

TEL&FAX 011-897-1426

この交流会は、自分の言葉で自分の思いをたくさんの人に伝えるという、とても素晴らしいものでした。

なお今後の進め方について、道内各自主夜間中学から実行委員を募った「実行委員会形式」にして、それぞれの自主性を尊重し、そして普段の授業・学習の成果を発表する場にしていきたいなどの意見がだされ、進め方についての意見交換会を開いております。

さんかほうこく 参加報告

いちにち はや
一日も早く

ちばし やかんちゅうがくかいせつ
千葉市に夜間中学開設を！

ぜんこく やかんちゅうがっこうけんきゅうかい けんしゅうこうりゅうかい
— 全国夜間中学校研究会 研修交流会 —

千葉市では、2006（平成18）年から「第2次五か年計画」に、公立中学校夜間学級設置についての検討が盛り込まれていました。

翌年には、千葉市中学校夜間学級設置検討委員会を設置しております。その委員会のまとめの報告がだされております。

まず、千葉県との協議の中で、「夜間学級は学齢生徒年齢を超えて中学校を卒業していない者が対象」であり、「不登校生徒や外国籍生徒は、設置目的の対象生徒から外れている」こと。また、千葉市が独自に設置しようとしても、「その旨を県に届け出なければならないこと」、学級の定数配置では県への申請と同意が必要であり、「本来の対象生徒の高齢化と減少等から」、千葉県は千葉市の夜間学級設置には、同意できない意向であることが明らかになった、ということ。

さらに千葉市において、「夜間学級設置について、学校現場の校長・職員からの強

い要望はない」こと、「設置を要望している市民団体もない。」という状況から、市立
中学校夜間学級は「現時点で設置できない」という結論がだされております。

私たちにとっても、この結論がだされたことはとても残念なことです。

しかし、交流会には札幌遠友塾の受講生、伊藤フサ子（じっくりクラス）さんが
出席し、体験発表をし、有意義な交流となりました。

翌25日に、42年間夜間中学に勤めた見城慶和さんが開いている「えんぴつの会」
から5名と関本保孝（墨田区文花中学校教員）さんに宿泊先にきていただき、交流
しました。この5名の方たちは公立夜間中学を卒業してからも、なお勉強を続けて
います。



▲ 伊藤フサ子さんの体験発表



▲ えんぴつの会との交流

伊藤フサ子さんの発表を紹介します

こんにちは。伊藤フサ子です。私は小さい頃から脳性小児マヒで学校にいけな
かった。学校にお願いにいったけれど、「だめだ」っていわれて。手が悪いから、書く
のが大変だった。

いまは学校にいかれるようになって、少しずつ書いたりできるようになって、文章
を書けるようになりました。みなさんの力をかりて…。みなさんの手をかりて、こ
こにもこられるようになったし。みなさんに感謝です。これからも少し、少し、勉強
したいなって思っています。

いまの学校もすごくいいのだけど、階段があるから…みなさんの手をかりて学校に
いかせてもらっています。

私は、やっぱり、一番こうして学校にこられるってことが一番感謝です。だから、
ここにくるのも、私は寝ないできました。

さっぽろしぎかい ちんじょうしよていしゆつ 札幌市議会へ陳情書提出とこれから

ねん がつ にち さっぽろしぎかい ちんじょうしよ ていしゆつ
2007年11月15日に札幌市議会へ陳情書を提出しております。

- ① 札幌遠友塾 自主夜間 中学に対する学校教室の提供と財政的支援を求めます。
- ② 北海道におけるセンター校の役割を担う公立夜間中学校夜間学級を札幌市に設置することを求めます。

この陳情書を提出する前に、札幌市長と札幌市教育委員会に「五項目の要望」(2007年5月22日)を提出しております。これら要望や陳情により、札幌遠友塾に対する札幌市立向陵中学校の教室利用が認められました。

このことは、「一度でいいから学校の門をくぐりたい」という義務教育未修了者の願いにとって大きな前進となりました。さらに、札幌遠友塾では、向陵中の教室を借りることができるようになって、二つのことを話し合うことができるようになりました。そして、今その話し合いを進めています。

- ① 授業内容の検討から、授業時間の増加。水曜日以外の曜日の教室利用。

科目数の増加をはかりたい。

- ② 生徒、教師やPTA、町内会との交流(授業の交流をふくめ)。

(生徒の家庭と学区にある宮の森・円山地域の町内会全戸に、『こんばんは、遠友塾です！』第1号、第2号を作成し、回覧してもらいました。)

遠友塾では、地域に支えられた夜間中学へ、そして学校教育は地域社会の中心にあるようにしていきたい、という願いが語られております。

一方、札幌市議会に提出した先の陳情は来年3月で「審議未了、廃案」となります。これに代わる新たな陳情書提出をふくめ、これからについて市議会各派と話し合いをしました。

ここでは、北九州市と城南中学校「夜間学級」とでおこなっている「共同事業(補助事業)」の資料、陳情までの経過と遠友塾4教科の「授業計画と運営」をお渡しして、行政支援の要望をしました。

8月3日(火) 民主党政審・文教委員14市議と話し合い

同日 市民ネットワーク2市議と政策担当委員13名と話し合い

8月5日(木) 公明党政審・文教委員7市議と話し合い

8月6日(金) 自民政党政審 11市議と話し合い

これらを受けて民主党篠田議員は、決算特別委員会（三定10月19日）で、札幌遠友塾自主夜間中学への支援について、「さらなる支援の拡大について」質問をしました。

また、他の会派議員も熱心に聞いてくれ、行政支援にむけた助言などを受けました。

札幌市長との話し合い

9月17日（金）、市長と話し合い、そこには市教委教育長と生涯学習部長、課長も同席していただきました。

話し合いにあたり、その内容の文章（北海道に夜間中学をつくる会・札幌遠友塾自主夜間中学の連名）を事前にお渡ししました。

① 札幌市と札幌遠友塾の授業運営を共同事業とすることができないでしょうか。

② 共同事業を要望するにあたって、私たちは、札幌遠友塾の授業が地域に開かれており、その授業を通じ向陵中学校の生徒さんや教職員のみなさん、学区地域町内会との交流を進めていきたいと考えております。

③ 共同事業を実施するための恒常・定期の話し合いの場をつくることをお願いします。市長は、上記3点に直接返答をしましたが、義務教育未修了者の存在は「社会経済からみても損失」であり、その支援に経済界にも要請した「学校施設に相当するようなもの」をつくれぬか考えている、とのべられました。

札幌市教育委員会との窓口レベルの話し合い

市長、市教委教育長、生涯学習部長と話し合いをし、それを市教委がどのように受け止められたかを質すために申し入れました。

それに対し市教委は、生涯学習部の事業にすると、「行政の公共性」から市民や他団体との公正性で、遠友塾だけを「差別化」することはできない。また、北九州市の「共同事業」は、行政の「たんなる補助事業」であるという見解をのべていました。

また、札幌市でも事業仕分けがおこなわれており、これまでの事業や予算、職員の削減が進んでおり、この状況で事業拡大することは難しいものもなべていました。

これまで通り、窓口レベルの話し合いにおいて具体的な課題をだしてもらい、その実現を「三者協議」（市教委・向陵中・遠友塾）ではかるやり方でよいのではないかと、市教委は返答をしております。

かつどう ほうこく
☆ 活動の報告 ☆

ねん
2010年

がつ にち にち だい かい ほっかいどう やかんちゅうがく かいそうかい
5月30日(日): 第4回 北海道に夜間中学をつくる会総会
こうえん きたきゅうしゅうし きょうどうじぎょう ばやしせいいちろ
講演「北九州市との共同事業について」 林 静一路さん

こうえん じょうなんちゅうがっこう やかんがつきゅう ねんかん ひょうか けんしゅう
講演は城南中学校「夜間学級」と北九州市との共同事業の5年間の「評価と検証」な
と く ないよう りかい つう じしゅ
ど、取り組み内容がよく理解できるものであった。とりわけ、この事業を通じて、自主夜間
かぎ こうりつ ちか しせい かん
中学を限りなく公立夜間中学に近づけるとの姿勢を感じる事ができた。
やかんちゅうがくけんしゅう へいわ じゅうじつ ぎ むきょういく まつと
「夜間中学憲章」にうたわれている「平和で充実した義務教育が全うされ、夜間中学が
ひつよう ひ いちにち はやく ねが つた
必要でなくなる日が一日も早く来ることを願っている」ことがよく伝わった。

ねんど だい かいじむきょくかいぎ
6月3日(木): 2010年度 第1回事務局会議

- そうかい はんせい
・ 第4回総会の反省
- かつどう さいたく ほうしん けんとう
・ これからの活動 (採択された方針の検討)

さっぽろしぎかい かくかい はぶんきょういん そうかいご あいさつ
6月8日(火): 札幌市議会各会派文教委員に総会後の挨拶まわり

さっぽろしきょうい まどぐち はな あ
6月9日(水): 札幌市教委との窓口レベル話し合い
そうかいほうこく こうしょう かつた
総会報告と窓口レベルの交渉のあり方について

7月1日(木): 第2回事務局会議

- ぶんきょういん こんご
・ 市議会文教委員への挨拶と今後について
- ほっかいどう こうりゅうしゅうかい じゅんび
・ 第2回北海道自主夜間中学交流集会の準備について
- ぜんこく やかんちゅうがっこうけんきゅうかい
・ 7月24日(土)の全国夜間中学校研究会の交流集会
さんか
への参加について

7月24日(土)・25日(日)

- ちばし
・ 全国夜間中学校研究会の交流集会 (千葉市) 参加
くどうきょうどうだいひょう いずみ じ むきょくちょう いいづかじむきょくじちょう
参加者: 工藤共同代表 泉 事務局長 飯塚事務局次長

がつ にち げつ りんじむきよくかいぎ
7月26日(月): 臨時事務局会議

- ちばしこうりゅうしゅうかいほうこく
・千葉市交流集会報告
- だい かいどうないじしゅ やかんちゅうがく こうりゅうかいじゅんび
・第2回道内自主夜間中学の交流会準備

7月31日(土): 第2回 道内自主夜間中学交流会 (生活体験発表)

8月3日(火): 民主^{みんしゅとう}党・市民^{しみん}ネットと話し^{はな}合^あい

8月5日(木): 公明^{こうめいとう}党と話し^{はな}合^あい

8月6日(金): 自民^{じみんとう}党と話し^{はな}合^あい

8月5日(木): 第3回事務局会議
・生活体験^{はんせい}発表の反省

9月2日(木): 第4回事務局会議
・市長^{しちょう}との話し^{はな}合^あいについて

9月17日(金): 市長と話し^{はな}合^あい

10月7日(木): 第5回事務局会議
・市長^{しちょう}との話し^{はな}合^あいの報告^{ほうこく}
・生活体験^{きろくしさくせい}発表の記録誌作成
・道内自主夜間中学交流会の今後^{こんご}の進め方^{すすかた}

10月15日(金): 札幌市教委との窓口^{まど}レベルの話し^{はな}合^あい
・市長^{しちょう}との話し^{はな}合^あいを受けて

10月30日(土): 道内自主夜間中学の打合せ
・札幌遠友塾^{さっぽろえんゆうじゅく}、函館遠友塾^{はこだてえんゆうじゅく}と今後の交流会にむけて

11月4日(木): 第6回事務局会議
・市教委との話し^{はな}合^あい報告
・交流会のあり方をめぐって

じむきよくかいぎ かいさい 事務局会議の開催

- : 事務局会議は毎月第1週の木曜日、午後6時半から開催しています。
- : 場所は、札幌市エルプラザ2階会議コーナーです。
- : 「北海道に夜間中学をつくる会」の事務所
札幌市エルプラザ事務ブース No. 16
〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目

れんらくさき じむきよくちょう いずみ まさと
連絡先: 事務局長 泉 雅人

〒004-0004

札幌市厚別区厚別東4条5丁目9-23

TEL&FAX 011-897-1426

「北海道に夜間中学をつくる会」URL <http://yakanchugaku.enyujuku.com/>

「札幌遠友塾自主夜間中学」URL <http://enyujuku.com/>

釧路自主夜間中学「くるかい」URL <http://kurukai08.exblog.jp/>
(「つくる会」ホームページにリンクしています)

はっこう ねん がつついたち
発行 2010年12月1日